

# 国語科学習指導案【第3学年】

- 1 日 時 令和6年11月1日（金）1校時
- 2 学 年 第3学年（5名）
- 3 単元名 えらんだ民話とくらべたことをもとにして「三年とうげ」の登場人物のへんかをせつ明しよう  
「三年とうげ」

## 4 単元の見標

- (1)様子や行動、気持ちを表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。  
〔知識及び技能〕(1)オ
- (2)登場人物の気持ちの変化について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができる。  
〔思考力、判断力、表現力等〕C(1)エ
- (3)言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。  
「学びに向かう力、人間性等」

## 5 単元で取り上げる言語活動

自分で選んだ民話との比較を基に「三年とうげ」の登場人物の気持ちの変化について考え、説明する。

## 6 単元の評価規準

| 知識・技能                                 | 思考・判断・表現                                                     | 主体的に学習に取り組む態度                                                                                                |
|---------------------------------------|--------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ① 様子や行動、気持ちを表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。(1)オ | ①「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。(C(1)エ) | ① 粘り強く、登場人物の気持ちの変化について場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像し、学習課題に沿って、自分で選んだ民話との比較を基に「三年とうげ」における登場人物の気持ちの変化について考え、説明しようとしている。 |

## 7 単元について

### (1)教材観

本単元は、小学校学習指導要領（平成29年度告示）解説 国語編第3学年及び第4学年〔知識及び技能〕(1)「オ 様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにすること」及び〔思考力、判断力、表現力等〕C読むこと(1)「エ 登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像すること」に基づいて設定するものである。

本教材は、朝鮮半島に伝わる民話である。全四場面の構成で、物語の始まりの場面・事件が起こる場面・事件が解決に向かう場面・事件の解決とその後というように、起承転結がはっきりしていることが特徴的である。物語は、とても美しい景色が見られるが、転ぶと寿命が縮んでしまうという恐ろしい言い伝えがある「三年とうげ」の説明から始まる。そこで中心人物である「おじいさん」は、転んでしまって思い悩み、病気になってしまうが、水車屋のトルトリの機転を利かせた教えのおかげで元気を取り戻し、幸せに暮らす。このように、登場人物が、何をきっかけに、どのように変化したかが分かりやすく、場面の移り変わりと結びつけて登場人物の気持ちの変化を具体的に想像しやすい教材といえる。また、「真っ青になり」「すっとんでいき」「はね起きると」「けろけろけろっと」等、動きや行動を表す語句が多くあることから、語句のまとまりを作ることができ、語彙を豊かにすることにも適した教材である。

## (2) 児童観

本学級の児童は、これまでに、「春風をたどって」の学習では、叙述を基に登場人物の気持ちを考え、「まいごのかぎ」の学習では、場面と場面をつないで人物がどのように変化したかを読み取ってきた。学習の様子を見ると、登場人物の気持ちを具体的に想像するためには、行動や会話に関わる叙述や、情景に関わる叙述から、どのような叙述に着目すればよいのかを理解できる児童が少ない。そのため、登場人物の気持ちを具体的に想像するために適切な叙述に着目することに課題があるといえる。

また、本学級の児童は、物語を読むことに対して苦手意識をもっている児童も複数いると感じる。読書に関する調査を行ったところ、以下の結果となった。

### 【アンケート調査】

| 質問                                    | 回答                                                             |           |            |           |
|---------------------------------------|----------------------------------------------------------------|-----------|------------|-----------|
|                                       | よくあてはまる                                                        | まあまああてはまる | あまりあてはまらない | 全くあてはまらない |
| 本を読むことは好きです。                          | 4名                                                             | 1名        |            |           |
| 物語を読むときに、登場人物の気持ちを考えながら読みます。          | 1名                                                             | 3名        |            | 1名        |
| 物語や文章を自分で読むことは好きです。                   | 4名                                                             | 1名        |            |           |
| 今まで読んだ本の中で、好きな本は何ですか。<br>(複数回答可、自由記述) | サバイバルシリーズ、モンスタートーナメント決勝戦、ペンギンのなやみごと、麒麟のなやみごと、シャーロック・ホームズ、ルパン三世 |           |            |           |

### 【1学期に図書室で借りた本についてのクラスの読書傾向】

|                      |                           |
|----------------------|---------------------------|
| 一人当たりが1学期間で借りた本の平均冊数 | ・・・14.8冊（最小値：11冊 最大値：20冊） |
| 9分類の本を借りた割合（絵本を含む）   | ・・・58.1%                  |
| 9分類の本を借りた割合（絵本を含まない） | ・・・32.4%                  |

アンケートから、児童の思いとしては、本や物語を読むことにそれほど消極的ではないということが分かった。しかし、読書傾向を見ると、9分類の本を進んで読んでいる児童は少ないことが分かる。加えて、絵本以外を手にとっている児童はかなり少ない。これらのことから、本や物語を読むことは好きではあるが、長い文章や絵、写真の少ない本を自分から手にとることはあまりなく、読書の幅を広げられてない児童が多いと考えられる。

## (3) 指導観

### ①育成したい資質・能力を明確にした単元構想

指導にあたっては、「自分で選んだ民話との比較を基に、『三年とうげ』における登場人物の気持ちの変化について考え、説明する」という言語活動を設定する。自分で民話を選んで並行読書しながら「三年とうげ」における登場人物の気持ちの変化について考え、二つを比較し共通点や相違点を見出していくことで、「三年とうげ」についてより読み深めていくという学習の見通しをもたせる。

「様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにする」ことに関して、語彙を豊かにするために、「真っ青になり」「すっとんでいき」「はね起きる」「けろけろけろっと」等、様子や行動を表す語句に着目させた上で性質や役割によって類別して捉える。語句をおさえるだけではイメージが湧かない児童がいると考えられるため、そのような叙述が、登場人物の気持ちや性格をどう表しているのかより具体的に考えられるようにするために、音読や動作化を大切にしたい。

「登場人物の気持ちの変化について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像する」ことに関して、叙述を基にして気持ちの変化について捉えるために「気持ちメーター」を用いる。なぜその気持ちになるのか、それはどの叙述を基にして考えたのか、「気持ちメーター」を用いて説明させることにより、自分の考えを明確にもたせたい。

## ②思考の方法の活用

思考の方法については、【比べる】と【つなげる】を用いる。

まず、【比べる】について、比較する対象は2つある。1つ目は、登場人物の気持ちの変化前と変化後についてである。2つ目は、「三年とうげ」の中心人物である「おじいさん」と自分の選んだ民話の中心人物の気持ちの変化についてである。気持ちの変化については、「気持ちメーター」を用い、自分の考えを持ちやすくしたり、変化をとらえやすくしたりする。

次に、【つなげる】について、登場人物の気持ちの変化のきっかけを、場面の移り変わりと結び付けて考えさせる。変化後や変化前の叙述から、そのきっかけとなる叙述を選ぶ等、複数の叙述を結び付けて読むことで、具体的に想像させたい。「三年とうげ」で叙述を結び付けて読むことを学習し、そのことを生かして、並行読書でも変化のきっかけを考えられるようにする。

## 8 単元の指導計画（10 時間扱い）

| 次                                                                                                                 | 時 | 学習活動                                                    | ・指導上の留意点                                                                                                                                                      | ◇評価規準<br>(評価方法) |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|---------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|
| <b>【本質的な問い】</b><br>○物語を豊かに想像することは、私たちの生活にどうつながるのだろうか。<br><b>【単元を貫く問い】</b><br>○登場人物の気持ちは、何をきっかけとして、どのように変化したのだろうか。 |   |                                                         |                                                                                                                                                               |                 |
| 単<br>元<br>前                                                                                                       |   | ・世界の民話についての本を読む。                                        | ・教室内に世界の民話コーナーを設け、様々な民話に触れられるようにする。                                                                                                                           |                 |
| 一                                                                                                                 | 1 | ・物語に出会い、感想をもつ。<br>・感想を交流し、単元を貫く問いを設定する。<br>・並行読書の目的を知る。 | ・単元で身に付けてほしい力を提示する。<br>・教師の範読を聞き、面白かったところや不思議なところ等、感想を書く視点を示す。<br>・初発の感想や単元で身に付けてほしい力を基に、単元を貫く問いを設定する。<br>・言語活動を提示し、並行読書の目的を確認した上で、自分がどの民話について説明するか決める時間を設ける。 |                 |
| 二                                                                                                                 | 2 | ・物語の大体の内容を捉える。                                          | ・物語を「だれが・どうなった話」の一文でまとめ、あらすじを捉えられるようにする。<br>・場面分けをし、各場面に見出しを付け、場面の移り変わりを捉えられるようにする。                                                                           |                 |
|                                                                                                                   | 3 | ・「三年とうげ」とはどのようなとうげか読み取る。                                | ・1 場面から「三年とうげ」について分かる叙述に線を引くようにして、読み取りにつなげる。<br>・「三年とうげ」の言い伝えについて詳しく読み取るよう「転んだならば」「三年きりしか」等の言葉に着目する。                                                          |                 |

|   |             |                              |                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                 |
|---|-------------|------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 二 | 4           | 自分が選んだ民話の並行読書<br>↓<br>5 (本時) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「おじいさん」の気持ちがどのように変化したのか考える。【比べる】</li> </ul>                                                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「気持ちメーター」を作成することにより、変化を考えやすくする。</li> <li>・登場人物の様子や行動を表す叙述から気持ちの変化を考えるようにするために、「気持ちメーター」のワークシートに、なぜその気持ちになると考えたのか、根拠となる叙述を付箋に書かせる。</li> <li>・登場人物の様子や行動を音読、動作で表し、気持ちを具体的に想像する。</li> </ul> | ◇〔知・技〕様子や行動、気持ちを表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。<br>(発言・ワークシート)                                                                                                                            |
|   | 6<br>7<br>8 |                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「おじいさん」の気持ちが何をきっかけとしてどのように変化したのかを考える。【つなげる】</li> </ul>                                                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・トルトリの助言のどの言葉をきっかけとして「三年とうげ」の言い伝えの捉え方が変化したのか考えるよう促す。</li> <li>・叙述をつなげて考えさせるために考えの根拠とした叙述を付箋に書いて「気持ちメーター」に貼らせるようにする。</li> </ul>                                                            |                                                                                                                                                                                 |
| 三 | 6<br>7<br>8 |                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が選んだ民話の登場人物の気持ちの変化について考える。</li> <li>・自分で選んだ民話との比較を基に、「三年とうげ」における登場人物の気持ちの変化を捉え、分かったことを説明する。【比べる】</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「三年とうげ」の学習を生かして、選んだ民話の中心人物の気持ちの変化を考えるよう助言する。</li> <li>・「三年とうげ」と自分が選んだ民話の登場人物の気持ちの変化について、何をきっかけとして、どのように変化したのかという比較する観点を示す。</li> <li>・適宜ペアで確認させながら書き進めるよう促す。</li> </ul>                   | ◇〔思・判・表〕登場人物の気持ちの変化について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。(発言・説明文)<br>◇〔態〕粘り強く、登場人物の気持ちの変化について場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像し、学習課題に沿って、「三年とうげ」と自分が選んだ民話の登場人物の気持ちの変化について考え、説明しようとしている。(行動・説明文の推敲履歴) |
|   | 9           |                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と説明し合う。</li> </ul>                                                                                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の説明を聞いて、様々な本での登場人物の気持ちの変化について感じたことを交流し、登場人物の気持ちの変化を想像したことや、他の本と比較して考えたことの良さを考えられるようにする。</li> </ul>                                                                                     |                                                                                                                                                                                 |

|   |    |              |                                                                                                                                         |  |
|---|----|--------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| 四 | 10 | ・単元の学習を振り返る。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・はじめに伝えた単元でつきたい力について振り返るよう視点を示す。</li> <li>・自分が今までに書いた文章と今回自分が書いた文章を比べて、成長が実感できるようにする。</li> </ul> |  |
|---|----|--------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|

## 9 評価の具体

| 評価規準<br>(思・判・表)                                    | 「おおむね満足できる」状況（Ｂ）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|----------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>①登場人物の気持ちの変化について、②場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。</p> | <p>「三年とうげ」のおじいさんの気持ちのへんかについて、わたしはこう考えました。本文には、②「ああ、どうしよう、どうしよう。わしのじゅみょうは、あと三年じゃ。三年しか生きられぬのじゃあ。」と書いてあります。ここから、おじいさんは、①三年とうげで転んでしまって、あと三年したら自分はしんでしまう！と思って、とてもふあんでかなしい気持ちだったのだと思います。②しかしトルトリの「そうじゃないんだよ。一度転ぶと、三年生きるんだろ。」の中の「一度転ぶと、三年生きる」という言葉がきっかけで、「あんまりうれしくなったので、しまい、とうげからふもとまで、ころころころりと、転がり落ちてしまいました。」と書いてあるように、考え方がかわって、①転べば転ぶほど長生きできることに気付いて、たくさん転んで元気になって長生きしたのだと思います。</p> <p>（きっかけ＋変化の前後）</p> <p>次に、わたしがえらんだ「うさぎのさいばん」についてせつ明します。このお話は、わかものが中心人物です。①山道を歩いていたわかものは、人くいとらをせっかくたすけたのに食べられそうになって「なにを！いのちのおんじんにむかってなんというやつだ！」と言っていることから、とてもおこっていて、こまっていたんじゃないかなと思います。②でも、うさぎがさいばんをしていくうちに人くいとらをあなの中に引きずりこんだことがきっかけで、①「わかものはうさぎのおかげでぶじにいえにかえりつくことができました」と書いてあるように、こまったことがかいけつしてあんしんしてぶじに家に帰ることができました。</p> <p>（きっかけ＋変化の前後）</p> <p>「うさぎのさいばん」とくらべて、「三年とうげ」は、中心人物のおじいさんの気持ちが、とてもへんかしていると思いました。でも、どちらも、中心人物がこまっていたけど、だれかの言葉や行動がきっかけで、最後はうれしくなっていて、気持ちのへんかのしかたがにていることが分かりました。（比較して見出した共通点もしくは相違点）</p> |

# 国語科学習指導案【第4学年】

- 1 日 時 令和6年11月1日（金）1校時
- 2 学 年 第4学年（6名）
- 3 単元名 登場人物の気持ちの変化に注目して「ごん」と「兵十」の心は通じ合ったのか、自分の考えを説明しよう  
「ごんぎつね」

## 4 単元の目標

- (1)言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くことができる。  
〔知識及び技能〕(1)ア
- (2)登場人物の気持ちの変化や情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像することができる。  
〔思考力、判断力、表現力等〕C(1)エ
- (3)言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。  
「学びに向かう力、人間性等」

## 5 単元で取り上げる言語活動

登場人物の気持ちの変化に着目して読み、「ごん」と「兵十」の心は通じ合ったのかについて自分の考えを説明する。

## 6 単元の評価規準

| 知識・技能                                   | 思考・判断・表現                                                       | 主体的に学習に取り組む態度                                                                              |
|-----------------------------------------|----------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|
| ①言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。(1)ア | ①「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像している。(C(1)エ) | ①粘り強く、登場人物の気持ちの変化や情景について場面の移り変わり結び付けて具体的に想像し、学習の見通しをもって、「ごん」と「兵十」の互いに対する気持ちの変化を説明しようとしている。 |

## 7 単元について

### (1)教材観

本単元は、小学校学習指導要領（平成29年度告示）解説 国語編第3学年及び第4学年〔知識及び技能〕(1)「ア 言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くこと」及び〔思考力、判断力、表現力等〕C読むこと(1)「エ 登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像すること」に基づいて設定するものである。

本教材は、中心人物である「ごん」と対人物である「兵十」の互いに対する気持ちの変化が、行動や会話の叙述に加えて、情景を表す叙述等に注目することによって、互いに対する気持ちの変化を捉えることができる。場面の移り変わりとともに視点を変化させながら登場人物の気持ちが描かれていることが特徴的であり、登場人物の気持ちを様々に想像できる。例えば、「1」から「5」の場面では、「ごん」の視点で描かれていることが多く、「ごん」の気持ちに共感しやすい。その後「6」の場面では、視点が徐々に「兵十」に移動していき、「兵十」が「ごん」を撃った場面では、「兵十」の後悔が想像できるとともに、「ごん」が撃たれてしまったことへの悲しみをを感じる児童が多いだろう。しかし、その時の「ごん」の気持ちはどうだったのか考えてみると、「ごんは、ぐったりと目をつぶったまま、うなずきました。」という叙述から、ただ悲しいだけではなく「ごん」は自分だと気付いてもらえて納得できたのではないかと想像することもできる。このように、本教材で想像できる登場人物の気持ちは、一様ではない。そのため、どの叙述を根拠とするのか、そこからどのようなことが想像できるか、一人一人の感じ方の違いが現れやすく、登場人物の気持ちの変化や情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像することにふさわしい教材であるといえる。

## (2) 児童観

本学級の児童は、「一つの花」において、場面を比べて読んだり、叙述に注目したりすることで、登場人物の気持ちの変化について考える学習をした。叙述に注目する際、多くの児童が登場人物の会話を基にして気持ちを想像しており、登場人物の行動等、地の文に注目して気持ちを想像することは十分にできていない。そのため、会話と行動等、複数の叙述を結び付けて気持ちを想像することができる児童も少ない。また、直接的に心情を表す描写からではなく、景色や天気の様子から、登場人物の気持ちの明るさや暗さ、次の展開を想像するというように、情景描写を基にすることにも初めて出会う。情景描写のどのような点から気持ちが想像できるのか、理解が難しい児童もいると思われる。

また、本学級の児童は、長い文章を読むことに対して強い苦手意識をもっている児童も複数いる。例えば、手に取る本が絵本や科学的読み物ばかりであるなど、読書の幅を広げられていない児童が多い。読書に関する調査を行ったところ、以下の結果となった。

### 【アンケート調査】

| 質問                                    | 回答                                                                                          |           |            |           |
|---------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|------------|-----------|
|                                       | よくあてはまる                                                                                     | まあまああてはまる | あまりあてはまらない | 全くあてはまらない |
| 本を読むことは好きです。                          | 2名                                                                                          | 1名        | 3名         |           |
| 物語を読むときに、登場人物の気持ちを考えながら読みます。          | 4名                                                                                          | 1名        | 1名         |           |
| 物語や文章を自分で読むことは好きです。                   | 2名                                                                                          | 2名        | 1名         | 1名        |
| 今まで読んだ本の中で、好きな本は何ですか。<br>(複数回答可、自由記述) | おりづるの旅、バムとケロシリーズ、ずーっとずっとだいすきだよ、ノラネコぐんだんシリーズ、少女ポリアンナ、クイズの本、走れメロス、オオカミ王ロボ、ぼっちゃん、エルマーのぼうけん、銭天堂 |           |            |           |

### 【1学期に図書室で借りた本についてのクラスの読書傾向】

|                      |                           |
|----------------------|---------------------------|
| 一人当たりが1学期間で借りた本の平均冊数 | ・・・25.8冊（最小値：11冊 最大値：55冊） |
| 9分類の本を借りた割合（絵本を含む）   | ・・・71.6%                  |
| 9分類の本を借りた割合（絵本を含まない） | ・・・44.5%                  |

本学級の児童は、読書に対する思いの差が大きいのが特徴的であった。絵本以外の9分類の本を自分から進んで読んでいる児童はやはり少なく、日頃の読書時間からもその様子は伺える。「長い文章は読みたくない。」「本は苦手。」という声も聞かれ、長い文章や絵、写真の少ない本を自分から手に取ることはあまりなく、読書の幅を広げられていないことが考えられる。

## (3) 指導観

### ①育成したい資質・能力を明確にした単元構想

指導にあたっては、「登場人物の気持ちの変化に着目して読み、「ごん」と「兵十」の心は通じ合ったのかについて自分の考えを説明する。」という言語活動を設定し、「ごん」と「兵十」それぞれの気持ちの変化を比較することを通して、物語の結末で二人の心は通じ合ったのか自分の考えをもつという学習の見通しをもたせる。

「言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付く」ことに関して、登場人物の行動、様子、情景描写を基にして気持ちを想像できるようにするために、ワークシートを活用して学習を進める。また、自分が気持ちを想像する際に基にした叙述の、どの言葉に着目したのかまで考えさせることにより、ある一語からでも心情を想像することができるということに気付かせたい。自分で言葉に着目できるようにするために、意図的な色分け等も取り入れながら、叙述を選ばせるようにしたい。

「登場人物の気持ちの変化や情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することに関して、心の距離の変化を視覚的に表すために、「ごん」「兵十」それぞれの心情曲線を作成させながら学習を進める。視覚的に表すことで、場面の移り変わりの「どこで」「どのくらい」

相手への思いが変化しているのか、自分の考えを明確にもたせたい。また、友達との考えの違いも捉えやすいことから、自分の考えを見つめ直して深めることにもつなげたい。継続して心情曲線を用いることで自分の考えを整理させ、最終的に二人の心は通じ合ったと思うのか、そうでないのか、根拠を明確にして説明させる。

## ②思考の方法の活用

思考の方法については、【比べる】を用いる。「ごん」と「兵十」それぞれの相手に対する気持ちの変化を、それぞれの人物の心情曲線を作成しながら考える。そして、二つの心情曲線を対比することで、「ごん」「兵十」二人の気持ちの変化の違いや、二人の心のすれ違いについて考えやすくする。

## 8 単元の指導計画（12 時間扱い）

| 次                                                                                                          | 時           | 学習活動                                              | ・指導上の留意点                                                                                                                                  | ◇評価規準<br>(評価方法)                                     |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|---------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|
| <b>【本質的な問い】</b><br>○物語について具体的に想像することは、私たちの生活にどうつながるのだろうか。<br><b>【単元を貫く問い】</b><br>○「ごん」と「兵十」の心は、通じ合ったのだろうか。 |             |                                                   |                                                                                                                                           |                                                     |
| 一                                                                                                          | 1           | ・物語に出会い、感想をもつ。                                    | ・単元で身に付けてほしい力を提示する。<br>・教師の範読を聞き、物語の結末についてどう思ったか感想の視点を示す。                                                                                 |                                                     |
|                                                                                                            | 2           | ・感想を交流し、単元を貫く問いを設定する。                             | ・初発の感想や単元で身に付けてほしい力を基に、単元を貫く問いを設定する。                                                                                                      |                                                     |
| 二                                                                                                          | 3           | ・中心人物や対人物を確かめ、「ごん」や「兵十」の境遇や性格を捉える。                | ・1、2場面を中心に、「ごん」や「兵十」の境遇や性格が分かる叙述に着目して読み取るようにする。                                                                                           | ◇〔知・技〕言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。(ワークシート・発言) |
|                                                                                                            | 4<br>5<br>6 | ・「ごん」の行動と「兵十」に対する気持ちが変わっているのか考える。<br><b>【比べる】</b> | ・「ごん」の行動を場面ごとに表にまとめていく。<br>・「ごん」の「兵十」に対する気持ちの変化を心情曲線で表し、変化を考えやすくする。<br>・情景描写についておさえる。図工と関連づけて、色の様子から感じられることや、風景の様子からどんな感じがするか考えて気持ちにつなげる。 |                                                     |

|   |           |                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                          |
|---|-----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 二 | 7<br>8    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「兵十」の「ごん」に対する気持ちがどう変化しているのか考える。【比べる】</li> </ul>                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「兵十」の「ごん」に対する気持ちの変化を心情曲線で表し、変化を考えやすくする。</li> <li>・最後の場面とその前の場面を比較し、「兵十」の言動に関する叙述や、「兵十」の視点で描かれていることが増えていることに着目する。またなぜ視点が「兵十」になっていくのか考える。</li> </ul>                      |                                                                                                          |
|   | 9<br>(本時) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・物語の結末で「ごん」と「兵十」の心が通じ合ったのかについて考える。【比べる】</li> </ul>                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ごん」「兵十」二人の気持ちについて叙述を基に具体的に想像するために、心情曲線の対比から読み取ったことを活用する。</li> <li>・「青いけむりが、まだつつ口から細く出ていました。」という情景に着目し、誰のどのような気持ちを表しているのか考え、登場人物の気持ちが想像できることに気付くことができるようにする。</li> </ul> |                                                                                                          |
|   | 10        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物の気持ちの変化に着目して読み、「ごん」と「兵十」の心は通じ合ったのかについて自分の考えを説明する文章を書く。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜそう考えるのか、複数の場面の叙述を結び付けながら、登場人物の気持ちの変化を捉え、根拠となる叙述を引用して書くこと、自分の解釈を入れること等、説明の仕方を提示する。</li> </ul>                                                                          | ◇〔思・判・表〕登場人物の気持ちの変化や情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。(説明文)                                                |
|   | 11        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの考えを交流し、自分の考えを完成させる。</li> </ul>                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の意見を聞いて、自分が書いた文章に書き加えたり、修正したりして、自分の考えを完成させるよう指導する。</li> </ul>                                                                                                         | ◇〔態〕粘り強く、登場人物の気持ちの変化や情景について場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像し、学習の見通しをもって、「ごん」と「兵十」の互いに対する気持ちの変化を説明しようとしている。(説明文の推敲履歴) |
| 三 | 12        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習したことや、交流を通して考えたことを感想にまとめ、単元の学習を振り返る。</li> </ul>                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの学習を振り返り、感じたことや考えたことを感想にまとめるよう伝える。</li> <li>・初発の感想と見比べて、考えの深まりを実感できるようにする。</li> <li>・はじめに伝えた単元でつきたい力について振り返るよう視点を示す。</li> </ul>                                     |                                                                                                          |

9 評価の具体

| 評価規準<br>(思・判・表)                                        | 「おおむね満足できる」状況（B）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|--------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>①登場人物の気持ちの変化や情景について、②場面の移り変わりと結び付けて、具体的に想像している。</p> | <p>私は、ごんと兵十の心は、通じ合わなかったと思います。</p> <p>まず、ごんについて説明します。ごんは、最初は、「ちょっと、いたずらがしたくなかったのです」と本文に書いてあることから、①自分勝手にいたずらをしていて、兵十にもとくべつな思いはなかったのだと考えます。でも、②自分のしたいたずらのせいで兵十をきずつけてしまい、つぐないをするようになります。本文には、「神様にお礼を言うんじゃあ、おれは引き合わないなあ。」と書いてあることから、ごんは兵十に気付いてもらえないことがいやだと思っていることが分かるので、兵十となかよくしたいという気持ちなのではないかと考えられます。そして次の日、「こっそり中へ入りました」と書いてあることから、①それまではうら口においていただけだったのに中にまで入っているので、ごんは、兵十に気付いてほしいと強く思うようになったのだと思います。（根拠＋解釈）</p> <p>一方兵十は、「こないだ、うなぎをぬすみやがったあのごんぎつねめが」と書いてあることから、最後の場面までずっと、①ごんのことは自分のてきだと思っていることが分かります。しかし、②ごんめ、またおれにいたずらをしにきたなと思ってごんをうってしまってから、土間にくりが固めて置いてあるのが目について、ごんがいつもくりをくれていたことに気付き、火縄じゅうをばたりと取り落としました。そのときの「青いけむりが、まだつつ口から細く出ていました」という文の「青い」から、兵十は、①いつもくりをくれていたのに、気付かずうってしまってすまないと後かいしていたのではないかと思います。（気持ちの変化）（根拠＋解釈）</p> <p>ごんのつぐないに兵十が気付いたけれど、ごんは兵十となかよくしたいと思っていた一方で、兵十はつぐないに気付いただけで、ごんとなかよくするまではいかなかったのが、ごんと兵十の心は、通じ合わなかったと思います。</p> |

# 10 学習の流れ（5 時間目／全 10 時間）

## (1) 本時のねらい

「三年とうげ」の「おじいさん」の気持ちを場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像し、「おじいさん」の気持ちが何をきっかけとしてどのように変化したのか考えることができる。

## (2) 本時の展開

# 10 学習の流れ（9 時間目／全 12 時間）

## (1) 本時のねらい

「ごん」と「兵十」の気持ちの変化を場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像し、二人の心は通じ合ったのかについて考えることができる。

## (2) 本時の展開

| ・指導上の留意点<br>◇評価規準（方法）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 学習活動                                                                                                                                                                                                                                                                               |  | 学習活動                                                                                                                                                                                                                                                                          | ・指導上の留意点<br>◇評価規準（方法）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の学習とつなげて、「おじいさん」の気持ちがどう変化しているか想像しながら音読するよう促す。</li> <li>・前時の学習活動を振り返り、本時の課題につなげる。</li> <li>・前時で考えた気持ちの変化を想起するために、変化前と変化後を表す叙述を提示し、比較する。</li> <li>・トルトリの助言のどの言葉をきっかけとして「三年とうげ」の言い伝えの捉え方が変化したのか考えるよう促す。</li> <li>・言い伝えやトルトリの言葉等、それまでの場面の叙述がつながるよう板書に残す。</li> <li>・叙述をつなげて考えさせるために考えの根拠とした叙述を付箋に書いて</li> </ul> | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「三年とうげ」を音読する。</li> <li>2. 本時の課題をつかむ。<br/><div>おじいさんの気持ちは、何をきっかけに、どのようにへんかしたのだろうか。</div></li> <li>3. 「おじいさん」が始めはどんなことを考えていたのか想像し「おじいさん」がなぜ「もう、わしの病気はなおった。百年も、二百年も、長生きができるわい。」と言ったのか考える。</li> <li>4. 「おじいさん」は、何をきっかけとしてどのように変化し</li> </ol> |  | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 本時の課題をつかむ。<br/><div>ごんと兵十の心は、通じ合ったのだろうか。</div></li> <li>2. 「6」の場面を音読する。</li> <li>3. 「青いけむりが、まだつつ口から細く出ていました。」という叙述が、誰のどのような気持ちを表しているのか考え、話し合う。</li> <li>4. 最後の場面の「ごん」と「兵十」の気持ちを考え、心情曲線がなぜそのようになると考えるのか根拠を明確にしてワークシートに書く。</li> </ol> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の学習活動を振り返り、本時の課題につなげる。</li> <li>・「ごん」と「兵十」の気持ちを想像しながら音読するよう促す。</li> <li>・この叙述のどの言葉を手掛かりに考えたのか焦点化し、根拠を明確にして考えを深める。</li> <li>・情景を表す叙述に着目することで「ごん」と「兵十」どちらの気持ちも想像できることに気付かせる。</li> <li>・気持ちが想像できる叙述に線を引いて考えるよう促す。<br/>(ごん→___兵十→___)</li> <li>・根拠を明確にするために、考えの根拠とした叙述を付箋に書いて心情曲線に貼らせるようにする。</li> <li>・なぜそのように考えるのか、根拠を明確にして書くよう伝える。</li> </ul> |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                         |  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                             |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------|--|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|
| <p>「気持ちメーター」に貼らせるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• きっかけと変化の仕方の2点を入れて書くよう伝える。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                    | <p>たのか考え、ワークシートに書く。</p>                 |  | <p>＜本時で扱う思考の方法＞【比べる】</p> <p>手立て：心情曲線で「ごん」の気持ちと「兵十」の気持ちを対比し、互いに対する気持ちがどのように変化し合ったのかについて考えをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 通じ合わなかったと思う。ごんは、最初は自分勝手なはずばかりしていたけど、最後の場面では「こっそり中に入りました」と書いてあるから、自分があげていると気付いてもらってもっと仲良くしたかったと思う。でも、兵十はずっとごんのことを「ぬすつとぎつね」と思っていた。そしてごんをうってしまった最後の場面では、「青いけむりが」と書いてあるところから、兵十はなんでうってしまったんだと後悔していると思った。ごんは仲良くしたいと思っていたけど、兵十はごんがくれているのにうってしまったことを後悔しているだけなので、二人の心は通じ合わなかったと思う。</li> </ul> |                                                             |
| <p>＜本時で扱う思考の方法＞【つなげる】</p> <p>手立て：「おじいさん」の気持ちが何をきっかけとしてどのように変化したのか、「おじいさん」の変化に関わる叙述と、変化のきっかけとなった「トルトリ」の言葉をつながけながら考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• おじいさんは、もうしんでしまうと落ちこんでいたけど、トルトリの「そうじゃないんだよ。一度転ぶと、三年生きるんだろ。」という言葉 をきっかけとして、考え方がかわって、三年とうげで転んで元気になった。</li> <li>• おじいさんは、転んでしまったことですごくおちこんでいたけど、ぬるでの木のかげから聞こえたおもしろい歌をきっかけとして、歌が聞こえてきてさらにゆう気が出て、転ぶことがこわくなくなって元気になった。</li> </ul> |                                         |  | <p>5. 考えを交流する。</p> <p>6. 本時のまとめをする。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                             |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>• 自分の考えとの共通点や相違点を考えながら交流させる。</li> <li>• 交流する中で、きっかけを、言葉に焦点化して考えているか確かめ、自分の考えの再考につなげる。</li> <li>• 友達の考えを聞いて新たに考えたことなど、自分の考えに付け加えるよう伝える。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                     | <p>5. 考えを交流する。</p> <p>6. 本時のまとめをする。</p> |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>• ごんと兵十の心は、通じ合わなかったと思う。ごんは、最初は自分勝手なはずばかりしていたけど、最後の場面では「こっそり中に入りました」と書いてあるから、自分があげていると気付いてもらってもっと仲良くしたかったと思う。でも、兵十はずっとごんのことを「ぬすつとぎつね」と思っていた。そしてごんをうってしまった最後の場面では、「青いけむりが」の「青い」から、青は残念な感じや悲しい様子を表現していると思ったので、兵十はなんでうってしまったんだと後悔していると思った。ごんは仲良くしたいと思っていたけど、兵十はごんがくれているのにうってしまったことを後悔しているだけなので、二人の心は通じ合わなかったと思う。</li> </ul>                                                                  |                                                             |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>• おじいさんの気持ちは、トルトリの「一度転ぶと、三年生きるんだろ」という言葉をきっかけに、それまでは、転ぶことをとてもこわがっていたけど、転べば転ぶほど長生きできることに気付いて、転ぶことがこわくなくなって、元気になった。</li> <li>• おじいさんの気持ちは、ぬるでの木のかげから聞こえた「百ぺん転べば三百年」という言葉をきっかけに、それまでは、転んでしまったことでかなりおちこんでいたけれど、転んだら長生きできるんだと考え方がかわって、転ぶことがとても楽しくなってうれしくなった。</li> </ul>                                                                                     |                                         |  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                             |
| <p>◇〔思・判・表〕登場人物の気持ちの変化について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                         |  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | <p>◇〔思・判・表〕登場人物の気持ちの変化や情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。</p> |

